

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立川口工業高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	工業高等学校としての趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、生徒・保護者及び地域の期待に応えるものとなっている。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。目指す学校像の実現に向けて重点化された適切なものとなっており、生徒の実態など学校の状況を踏まえた目標である。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等が連携しながら、目標達成を目指す体制となっている。分掌・学年間の連携を深め、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されている。重点目標達成のため、分掌・学年・学科のシートが作成されているが、学校全体の目標と連鎖させて更に組織的に課題の解決に取り組めるようにすることが望まれる。
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持ち取り組んでいる。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮して、課題の解決や目標の達成に向けて更に共通理解を深め組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	評価指標などにより、評価項目が検証され、次年度への課題と改善策が示されている。各種アンケートの工夫を進めるとともに、学校関係者の意見やアンケートの結果等を更に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。
特記事項		